

科目名 (英)	アシスタントプログラムⅢ Assistant program Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	佐藤直雅
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2		曜日・時間	1組2組3組(水3・4)
講師紹介	ヘアメイク事務所ビーサイド代表。数多くの現場経験を持ち、また多くのヘアメイクを輩出していた講師が、最新の現場で必要とされるアシスタント業務を具体的に説明する					
目的 科目概要	業界理解と作品撮りのにより自己表現					
到達目標	業界を理解し、作品を通して、自己表現できるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	JESCテキスト 他 資料			事前事後 学習と その内容		
教材	メイク道具一式					
特記事項						

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	業界講話	TV業界について
2	業界講話	出版業界について
3	業界講話	音楽業界について
4	業界講話	ドラマ・映画業界について(座学)
5	撮影①	作品撮影について(座学)
6	撮影②	撮影実習プレゼン(座学)
7	まとめ	ヘアメイクの就職活動について(座学)
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク Bridal Hair Make	年次	2	実務経験	担当	川戸 有子/細谷 桃香
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	1組(月1.2限) 2組(火3.4限) 3組(火3.4限)
講師紹介	<p>H29 東京ベルエポック美容師科通信課程を修了し、現在はまつ毛エクステ、エステ技術者・経営をしております。卒業した母校で講師として携われる事がとてもやりがいを感じます。</p> <p>H27 東京ベルエポック美容専門学校卒業後フリーランスのアシスタントとして経験を積みアイドルの専属ヘアメイクチームに所属。チーム卒業後フリーランスのヘアメイクとして声優・アイドル・アーティスト等の音楽業界とファッション業界をメインに活動中。</p>					
目的 科目概要	<p>近年、まつ毛エクステーションは多くの女性に人気を集めるようになりました。まつ毛エクステーションは、地まつ毛に装着するので危険が伴います。そのため、アイリストとして確かな知識や技術が必要です。私も日々細心の注意を心がけております。安心・安全を第一とする技術者としての自覚や心構えを学んでもらいたいです。</p> <p>現代のブライダルの現場で求められるヘアメイク技術と知識の取得。 ヘアメイクの技術はすべてつながっているので、ブライダル業界のみならず多方面に必要な技術である。</p>					
到達目標	<p>まつ毛エクステーション施術について、安全・衛生面の重要性とともに基本知識・技術を習得する。カウンセリング・デザインからエクステーション装着をマネキンを利用して施術を行う。安全に丁寧に美しく仕上げることができる。</p> <p>お客様の求めるイメージに沿ったヘアメイク提案・施術ができる</p>					
評価方法	<p>学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。</p> <p>■ 筆記試験    ■ 実技試験    □ 作品</p>					
教科書	ヘアメイク道具一式・筆記用具・ノート(メモ可)		事前事後 学習と その内容	授業時は必ずノートを取り、普段から様々な画像や雑誌を見てアイデアを収集しておくこと。		
教材						
特記事項	教科書なし					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	まつ毛エクステーションとは	左右のツイーザーに慣れ、まつ毛をかき分ける。まつ毛をツイーザーの間に1本入れる。
2	カウンセリングについて	まつ毛クレンジング～エアブローのかけ方。エクステーションを練習用のペーパーに装着する
3	まつ毛の構造と毛周期について	マネキンにエクステーションを装着する
4	まつ毛エクステーションのデザインについて	まつ毛エクステーションのデザイン(キュートライン)
5	まつ毛エクステーションの施術の流れ	まつ毛エクステーションのデザイン(セクシーライン)
6	まつ毛エクステーションのトレーニング	まつ毛エクステーションのデザイン(カラーエクステ)
7	定期試験(筆記・実技)	まつ毛エクステーション施術の安心・重要性を理解し、エクステーションを丁寧に美しく仕上げる
8	洋装メイク	ナチュラル&キュート系メイク
9	洋装メイク	エレガント&クール系メイク
10	洋装ヘア	ブライダルルーズアップ&ボリュームポニーテール
11	和装メイク・和装ヘア	和装メイクのポイント・和装シニヨン
12	期末試験準備	デッサンシート作成・相モデル練習・改善点のブラッシュアップ
13	期末試験準備	相モデル練習・改善点のブラッシュアップ
14	期末試験	相モデル実践・デッサンシート提出
15	まとめ	ブライダルについて総仕上げ

科目名 (英)	スチールヘアメイク I	年次	2	実務経験	担当	吉村 幸/山崎 七世
	Still Hair Make I	授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	1組(火3.4限) 2組(水1.2限) 3組(木1.2限)
講師紹介	舞台やスチール撮影など幅広い現場でヘアメイクを担当している。現場で必要とされることも含めて分かりやすくレクチャーするので積極的に取り組んでほしい					
目的 科目概要	年代別の歴史やトレンドを学ぶ、またテーマ合わせたヘアメイクを自分で考えてヘアメイクに落とし込むことができるようになる。作品撮影する					
到達目標	テーマに合わせて自分でデザインを考えて、作品に落とし込むことができるようになる。プロカメラマンにより作品を撮ってもらう					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	ヘアメイク道具一式	事前事後 学習と その内容				
教材	プリント配布					
特記事項	なし					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	1950年代トレンド	50年代(オードリー・ヘップバーン)をアレンジしたデザイン&実技
2	1960年代トレンド	60年代(ツイッギー)をアレンジしたデザイン&実技
3	1980年代トレンド	80年代をアレンジしたデザイン&実技
4	1990年代トレンド	90年代をアレンジしたデザイン&実技
5	2000～2020年代(現代)トレンド	2000～2020年代(現代)トレンドをアレンジしたデザイン考案
6	中間試験対策	中間試験に向けた準備・対策授業
7	中間試験①	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
8	中間試験②	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)
9	パーツに特化したスチールメイク①	アイメイクに特化したヘアメイクを考え実習する
10	パーツに特化したスチールメイク②	アイメイクに特化したヘアメイクを考え実習する(デコレーションメイク)
11	パーツに特化したスチールメイク③	アイラインに特化したヘアメイクを考え実習する
12	パーツに特化したスチールメイク④	リップに特化したヘアメイクを考え実習する
13	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業
14	定期試験①	フォトグラファーによる作品撮り①
15	定期試験②	フォトグラファーによる作品撮り②

科目名 (英)	特殊メイク I Special Effect Make up I	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	1組(水1.2限) 2組(月3.4限) 3組(月1.2限)
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスクール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではヘアメイクに必要な特殊メイクに関する専門的な技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:ヘアメイクとして幅広いメイクアップの表現力を身につける。 科目概要:TV・映画に必要な特殊なメイクを学ぶ、クリエイティブなメイク表現を学ぶ。					
到達目標	TV・映画に必要な特殊なメイクを習得できる、クリエイティブなメイク表現を理解することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	適宜参考画像など資料用意します。		事前事後 学習と その内容	前もって参考になる画像などをリサーチしておくこと。手順が特殊なので何度か実践しいつでも再現できるようにしておくこと。		
教材	メイク教材と学校準備の共有教材					
特記事項	手順が特殊なのでしっかりとメモを取ること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	皮膚状態の再現/汚しメイク	ソバカス ニキビ クマ 蒼白 蕁麻疹/発汗 泥はね 油汚れ 煤汚れ
2	老けメイク	くすみ シミ ホジワ 大ジワ たるみ コケ 白髪 老化を表現する
3	あざメイク/火傷メイク	アザ初日 アザ2日目 アザ4日目 / I度熱傷(日焼けや軽症の火傷) II度熱傷(水ぶくれ) III度熱傷(重症)
4	傷メイク/傷ワックスの応用	擦過傷(軽いすり傷) 挫創(打撃・圧迫による皮膚断裂) 切創(切り傷) 裂傷(裂け傷) 刺創(刺し傷) 銃創(銃撃された傷)/つけ鼻 鼻曲がり ズレ指
5	死人メイク/縫合メイク	死後10数時間程度の死人の顔/細めの糸～太めの紐まで使って縫合したように見せる表現
6	ゾンビメイク	老け 痣 火傷 傷 死人メイクの応用でゾンビを表現する
7	中間試験	ゾンビメイクを時間内に仕上げる(20点)
8	メイクで再現①	殴られた人の顔(アザ+裂傷+鼻曲がりの組み合わせ)/転倒した時の顔(アザ+擦過傷の組み合わせ)
9	メイクで再現②	刺殺された人の顔(刺創+死人の組み合わせ)/銃殺された人の顔(銃創+死人の組み合わせ)
10	メイクで再現③	爆撃を逃れた人の顔(汗+煤汚れ+火傷の組み合わせ)/原因不明の皮膚疾患の部位(挫創や蕁麻疹の組み合わせ)
11	怨霊メイク	ゾンビメイクとは違うおぞましさを表現
12	タトゥメイク	洋風の刺青を再現
13	刺青メイク	和風の刺青を再現
14	ハロウィーンメイク	新しい発想やさまざまな要素を組み合わせる
15	定期試験	ハロウィーンメイクを限られた時間内で仕上げる(50点)

科目名 (英)	ヘアメイクⅡ Hair make Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	1組(木3.4限) 2組(木1.2限) 3組(水1.2限)
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	ヘアスタイル・ヘアセットの技術・知識を身につける。					
到達目標	カールアイロン使用しスタイリングができる。ハーフアップスタイルができる。アップスタイルができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験    ■ 実技試験    □ 作品					
教科書	ヘアアレンジ検定テキスト・配布資料			事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にヘアセッティングをしてください。終了後は全員で消毒と清掃を行います。	
教材	ヘア道具一式					
特記事項						

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	技術チェック	アイロン・カラー・編み込み・ピンニングなど技術レベルのチェック
2	アイロンテクニック①	カールアイロンを使用したスタイリング
3	アイロンテクニック②	巻き方パターン、ツイスト巻きを使用したスタイリング
4	ピンニング・ホットカラーテクニック①	ピンニング・ホットカラーを使用したスタイリング
5	編み込み表・裏・レース編み	編み込みを使用したスタイリング
6	中間試験対策 ハーフアップ①	ハーフアップスタイ
7	中間試験	ハーフアップスタイルをチェック
8	ハーフアップ②	くるりんぱ・ローブ編み込みハーフアップスタイル
9	アップスタイル①	ポニーテールパターン
10	アップスタイル②	シニヨンパターンを習得する
11	編み込みアレンジ	編み込みアレンジスタイル
12	抱き合わせ	抱き合わせスタイル
13	夜会	夜会
14	期末試験対策 アップスタイル	アップスタイル
15	期末試験	アップスタイルをチェック

科目名 (英)	ブライダル総合 General Bridal	年次	2	実務経験	担当	天野 充恵
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2			曜日・時間
講師紹介	花業界に入って30年。ブライダル、イベント装飾、植物による空間デザインなど。生花、プリザーブドフラワー、アーティフィシャルフラワーなどを取り扱いフラワーデザイナーとして活動					
目的 科目概要	花の知識、ブライダルの中での花の役割を知る。					
到達目標	花の種類、特徴を理解。ブライダルの中でどのような装飾や演出があるかを理解。ドレスや会場に合わせたコーディネートがイメージできるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験      ■ 実技試験      □ 作品					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	メモをとり、理解する		
教材	プリント					
特記事項						

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	花のいろいろな素材について	生花、プリザーブドフラワー、ドライフラワー、アーティフィシャルフラワーなど素材の違いと適切な用途、扱い方を理解する
2	季節のお花・花言葉について	季節感がでるお花、その時期にしかないお花、花言葉を知る
3	ブライダルで使われるお花について	ブライダルにふさわしいお花、ブーケに使われるお花を知る
4	ブライダル装花について	会場装飾としてどのようなものが飾られるのかを理解する
5	ブライダルでのお花を使った演出について	ブライダルの中で行われるいろいろな演習、由来について理解する
6	ブートニア制作(ワーク)	ワイヤリング法とリボンの作り方を理解し、ブートニアを制作
7	テイストイメージについて	テイストイメージにあった色合わせについて理解する
8	テイストイメージについて(ワーク)	テーマに合わせたコーディネートを実際コラージュし作ってみる
9	テイストイメージ(発表)	それぞれ前回は制作したものを発表
10	ウェディングブーケの種類、ドレスとの相性	ウェディングブーケの種類とドレスとの相性を理解する
11	ラウンドブーケ・ブートニア・ヘアード(ワーク)	ラウンドブーケ、ブートニア、ヘアードの制作
12	ラウンドブーケ・ブートニア・ヘアード(ワーク)	ラウンドブーケ、ブートニア、ヘアードの制作、完成させる
13	生花の水揚げ法とブートニア作り	生花の水揚げ法を知り、ブートニアを制作
14	ブライダルコーディネート	各自、自由に会場やブーケなどをコラージュでコーディネートをしてみる
15	振り返りとまとめ、発表	前回制作したコーディネートの発表と振り返り

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ Career Development Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	仁藤 都/村上 礼奈
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2	開講区分	前期	
				曜日・時間	1組(金2)2組(金3)3組(金1)	
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	スケジュール帳・筆記用具					
特記事項						

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	他己紹介	2人1組。相手をよく知り、クラスの仲間に紹介することでより良いクラス作りをする
2	グループディスカッション	スポフェスに向けて、出場種目、クラス衣装を決定
3	就職対策	社会人になるということはどういうことかを考える
4	就職対策	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる
5	就職対策	履歴書の重要性を知り、ライバルに勝てる履歴書が書けるようになる
6	就職対策	自己分析をし、就職活動に活かすことができる
7	中間試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる 800文字以内
8	グループディスカッション	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける
9	グループディスカッション	グループディスカッションで自分の立ち位置や、どうすれば印象に残せるか学ぶ。
10	コンテスト対策	コンテストに向けて完成を磨き、オリジナリティのある先品が作れるようになる
11	就職対策	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる
12	社会人基礎力を身につける①	社会人としての言葉使いを覚える。敬語・丁寧語を正しく学ぶ。
13	社会人基礎力を身につける②	伝える力を学ぶ。絵を見て覚え、他の仲間に言葉だけで覚えた絵を伝えることができるか。
14	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
15	定期試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる 800文字以内
15	定期試験振り返り	前期を振り返り、共有する。5年後・10年後のビジョンについて考える



科目名 (英)	パーソナルカラー Personal color	年次	2	実務経験	担当	高橋 名都紀
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2			
講師紹介	色彩心理に興味を持ったことをきっかけに、色彩に関する資格を多数取得しました(色彩検定1級、パーソナルカラー検定1級等)。その後個人サロンを立ち上げ、年間200名以上のパーソナルカラー診断をしています。色彩に関する知識だけでなく、みなさんの色感やスキルアップにつながるような実践的なお話やアドバイスをいたします。					
目的 科目概要	目的: 似合う色を活用するポイントを学ぶことで、TPOに合わせた自分の魅せ方(自分ブランディング)を学ぶ。 概要: パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎、そのもとになる色彩学の基礎を習得する。 自分自身の似合う色を実習の中で学んでいく。					
到達目標	自分には客観的にどのような色が似合うかを学び、「自分ブランディング」ができるようになる事で自分に自信を持ち、自己表現の幅を広げること。 パーソナルカラー検定3級(2022年度夏季)の合格を目指す。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	色彩活用パーソナルカラー3級公式テキスト			事前事後 学習と その内容	授業の進行に合わせて、必要である場合はホームワークとして課題の予習・復習、問題集、プリントの課題を実施いたします。	
教材	問題集、新配色カード199a、PCCストーン別色相環					
特記事項	はさみ、のり、筆記用具も持参してください。					

### 授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション パーソナルカラーとP.I.について	授業内容 パーソナルカラー(似合う色)を知ることのメリットと概要を理解する。
2	色の三属性(色相、明度、彩度) カラーワーク	色彩の基本である色の三属性(色相、明度、彩度)を学ぶ。 カラーワーク(トーンマップを完成させる)
3	トーン(色の調子)	トーンの見え方と仕組みを理解する。 身の周りの色や指定された色をトーンでとらえられるように、慣れる。
4	パーソナルカラーの基本 4シーズンのカラーパレット	パーソナルカラーの基本を学ぶ。 4シーズンの色の特徴を見分け、色分類ができるように、色感を磨く。
5	色素の見分け方 色素チェック	生まれながらに持った色素(肌、髪、眼の色と質感)の特徴の見分け方のポイントと、色素と似合う色の関係性を学ぶ。自分はどんな色素を持っているのかを確認する。
6	似合う色の取り入れ方	4シーズンの似合う色の取り入れ方(ファッション、メイク、アクセサリ、柄、素材) また、似合わない色の見え方も確認する。
7	中間試験 色名	20問/20点満点 選択・記述問題 系統色名と慣用色名の色の名前の使い分けのポイントを学ぶ。
8	反射・吸収 色と光	色はなぜ見えるのか?色と光の関係性を学ぶ。
9	模擬試験	検定に備えて過去問題を解き、苦手なところを確認する。
10	模擬試験解説 検定合格のポイント	間違えやすいところや、検定に出やすいポイント、覚えるところの確認をする。
11	パーソナルカラー検定	60分 89問 マークシート 合格ライン80%
12	ドレーピング実習①	ドレーピングによるパーソナルカラー診断の実習 グループに分かれ、ドレープを比較しながら、お互いの似合う色を確認する。
13	ドレーピング実習②	ドレーピングによるパーソナルカラー診断の実習 グループに分かれ、ドレープを比較しながら、お互いの似合う色を確認する。
14	授業のまとめ	ドレーピング実習のまとめ 授業を振り返り、期末試験のポイントの確認をする。
15	期末試験	25問/50点満点 選択・記述問題



科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ Career Development Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	仁藤 都/村上 礼奈
		授業形態	講義			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	30	開講区分	後期	
		単位	2		曜日・時間	1組(水2)2組(木3)3組(木2)
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	スケジュール帳・筆記用具					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	他己紹介	後期のクラスがもっとよくなるように【言葉の花束】をつくり自己肯定感を高める。
2	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】でマナーを身につける。 【テーマ】ネガティブな言葉をポジティブに変換してみよう
3	社会人基礎力	社会人基礎力【考える力】を身につける。【テーマ】きれいな文字を書こう 参考:ペン字練習帳 お礼状を書こう
4	社会人基礎力	社会人基礎力【考え、伝える力】を身につける【テーマ】人前で報告する。例:ぶれずにきれいに写せるカメラができた。操作が簡単でシンプルで高性能のため、高齢者に喜ばれている。
5	社会人基礎力	社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】仕事をやめないためには何が必要か
6	中間テスト	社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】後悔のない人生を送る為にはどうすればいいか 800文字にまとめる。
7	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】転職について考える。
8	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】一生美容業界で働くために必要なスキルや心構えを考える。個人で考え、社会にでて活かしていけるようにまとめる。
9	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】クラス全員で敬語で話し、間違った敬語は教えてあげよう
10	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】でマナーを身につける。 【テーマ】上座・下座について考えてみよう【会議室・タクシー・飛行機・電車】
11	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】でマナーを身につける。 【テーマ】名刺の交換について考えてみよう
12	社会人基礎力	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】でマナーを身につける。 【テーマ】感じのいい電話対応について考える
13	社会人基礎力	想定した顧客のニーズを満たせる賞品を話し合い、売るという軸からブレない力を身に付ける。 例)鉛筆を3万円で売るにはどうしますか
14	定期試験	社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】社会人として、美容師としてどのように過ごしていくかを自分なりに考え400文字以内にまとめる
15	定期試験振り返り	14回で考えたことを全体で共有する。5年後、10年後のビジョンについて考える

科目名 (英)	スチールヘアメイクⅡ	年次	2	実務経験	担当	吉村 幸/山崎 七世
		授業形態	演習			
	Still Hair Make Ⅱ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4			
講師紹介	テーブルカンパニー所属。ヘアメイクとして長いキャリアを持つ現役のヘアメイクが分かりやすく現場で使えるテクニックをレクチャーするので積極的に学んでほしい。					
目的 科目概要	様々なテーマから自分でアイデアを考え、ヘアメイクというテクニックをつかってオリジナリティー溢れるヘアメイクの作品を制作する					
到達目標	コンセプトシート⇒デッサン⇒モデルのヘアメイクテスト⇒写真撮影 の流れをしっかりと理解し実践できる また撮影メイクを経験し、写質の高いヘアメイクの作品を残す					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	プリント配布					
特記事項	中間試験20点 定期試験50点 その他小テスト30点 配点とする					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	前期の振り返り	改めて作品作りのポイント・コンセプトなどを探る(今までの作品を含めて)
2	SDG's(エスディー・ジーズ)を考える①	SDG's(エスディー・ジーズ)を知る。ひとつのテーマに絞りコンセプトシートを完成させる
3	SDG's(エスディー・ジーズ)を考える②	前回考えたコンセプトシートをもとにヘアメイクを作る
4	SDG's(エスディー・ジーズ)を考える③	開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートを完成させる
5	SDG's(エスディー・ジーズ)を考える④	SDG's(エスディー・ジーズ)を知る。ひとつのテーマに絞りコンセプトシートを完成させる
6	中間試験対策	衣装やイメージカット割りを組み立て、撮影イメージのシュミレーション
7	中間試験(1回目)	フォトグラファーによる作品撮り 前半組
8	中間試験(2回目)	フォトグラファーによる作品撮り 後半組
9	中間試験 作品振り返り	中間試験の作品を振り返ります。うまく表現できたところ、反省点などを話し合います
10	JAPANESE(グループ制作)①	代表的な日本文化の特徴と表現方法を考える。コンセプトシートを作成する
11	JAPANESE(グループ制作)②	代表的な日本文化の特徴と表現方法を考える
12	JAPANESE(グループ制作)③	新しい日本らしさ(雰囲気)をテーマに、デザインを考案
13	期末試験対策	衣装やイメージカット割りを組み立て、撮影イメージのシュミレーション
14	定期試験(1回目)	フォトグラファーによる作品撮り 前半組 (1人1作品)
15	定期試験(2回目)	フォトグラファーによる作品撮り 後半組 (1人1作品)

科目名 (英)	美容総合技術Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	AW 吉野 大内
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4			曜日・時間
講師紹介	代官山AWディレクター。ロンドン留学での美容経験やアーティスト、有名デザイナーのヘアメイク、ブライダルヘアなど様々な経験を元にサロンワークの可能性や楽しさを伝えたい					
目的 科目概要	目的: シャンプーブロー、スタイリング、アップスタイルの基本的技術の習得。 概要: 基礎技術に加え、髪に触ることに慣れ、カットデザインとヘアメイクの運動性からデザインの繋がり、面白さを学び、生徒自身の可能性を広げたい					
到達目標	様々な視点から物事が見られる。ゲストに求められる技術を提供でき、コミュニケーションが取れる。生徒自身がそれぞれイメージを固め、具現化できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験    ■ 実技試験    □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材						
特記事項						

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・技術展示	授業の趣旨を把握する。シャンプーの目的手順を理解する
2	シャンプーブロー実習	相モデルでのシャンプーブロー実習
3	シャンプーブロー実習	相モデルでのシャンプーブロー実習
4	シャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習
5	シャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習
6	シャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習
7	中間テスト	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実技試験
8	カウンセリング	相モデルでのカウンセリング実習、会話からスタイルを導き出す
9	相モデルによる水巻きパーマ	薬剤を使わずに水のみでかけるパーマ、パーパス以外の巻き方やコテ巻きとの違いを学ぶ
10	相モデルによる水巻きパーマ	薬剤を使わずに水のみでかけるパーマ、パーパス以外の巻き方やコテ巻きとの違いを学ぶ
11	相モデルによるスタイリング実習	基本的なアップスタイルから、編み込み、崩し、柔らかさの表現方法など
12	基礎的カットスタイリング実習	ウィッグを使い、実際に髪を切りカットによるデザインの変化を学ぶ
13	イメージ別カットスタイリング実習	生徒それぞれが自由にイメージを考えカットしスタイルを作る。授業の最後に簡単なプレゼンを行う
14	相モデル作品制作	ペアになりこれまでに学んだ技術を使って作品制作、写真撮影
15	期末テスト	相モデルでの作品制作、写真撮影、プレゼンテーションを行う

科目名 (英)	ヘアメイクⅢ Hair make Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	細谷 桃香
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4			曜日・時間
講師紹介	H27 東京ベルエポック美容専門学校卒業後フリーランスのアシスタントとして経験を積みアイドルの専属ヘアメイクチームに所属。チーム卒業後フリーランスのヘアメイクとして声優・アイドル・アーティスト等の音楽業界とファッション業界をメインに活動中。					
目的 科目概要	様々なジャンルのナチュラルメイクのクオリティアップ 現場に必要なヘアメイク技術の理解と取得					
到達目標	各現場で求められるヘアメイク技術と知識を身につけ、対応できるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験    ■ 実技試験    □ 作品					
教科書	ヘアメイク道具一式・筆記用具・ノート(メモ可)			事前事後 学習と その内容	授業時は必ずノートを取り、普段から様々な画像や雑誌を見てアイデアを収集しておくこと。	
教材						
特記事項	教科書なし					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	メンズナチュラルメイク	メンズメイクの方法を理解し習得する
2	レディースナチュラルメイク	短時間の撮影向けのナチュラルメイクの理解と習得
3	レディースナチュラルメイク	長時間の撮影向けのナチュラルメイクの理解と習得
4	アイドルメイク	現代のアイドルメイクの基礎知識の理解と習得
5	声優メイク	現代の声優メイクの基礎知識の理解と習得
6	中間試験準備	レディースナチュラルメイクの復習
7	中間試験(レディースナチュラルメイク)	相モデル実践
8	コテ巻き(3種)	各ヘアアイロンを使った巻き方による違いの理解と習得
9	ハーフツインテール	ハーフツインテールを美しく作れるようになる
10	ツインテール	ツインテールを美しく作れるようになる
11	お団子ヘア	お団子ヘアを美しく作れるようになる
12	編み込みアップスタイル	編み込みアップスタイルを美しく作れるようになる
13	期末試験準備	デッサンシート作成・相モデル練習・改善点のブラッシュアップ
14	期末試験準備	相モデル練習・改善点のブラッシュアップ
15	期末試験	相モデル実践・デッサンシート提出

科目名 (英)	フェイシャルエステティック Facial Esthetics	年次	2	実務経験	担当	山田 優子
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	1組(水3・4)2組(金1・2)3組(火1・2)
講師紹介	エステティシャンとして20年間以上に渡りフェイシャルケア、ボディケア等、様々な美容サービスを提供してきました。授業では心身を癒し肌やボディラインを整える為のノウハウを丁寧にお伝えしてゆきます。生活に役立つセルフケアの方法や、美容家として社会で活躍する為に役立つ美容の基礎知識を提供します。					
目的 科目概要	スキンケアの重要性と皮膚のしくみ、身体のしくみについて学ぶ。 エステティックにおけるクレンジング～マッサージまでの基礎技術及びブライダルエステ技術を習得する。					
到達目標	皮膚や心身のしくみについて理解し、フェイシャルマッサージ、ボディケアが出来るようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	AJESTHE : 認定フェイシャルエステティシャン理論と技術			事前事後 学習と その内容	毎回の授業テーマと概要を理解して授業に参加する事。	
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業の授業内容を復習し、配布プリントは保管する事。					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	エステティックとは/セッティング&肩のマッサージ	エステティックの基礎知識を学ぶ。セッティング、消毒、清掃法について。肩マッサージの実践。
2	ホメオスタシスとストレス/ハンドマッサージ	ホメオスタシスとストレスについて学ぶ。ハンドマッサージの実践。
3	身体のしくみと働き①/フェイシャルクレンジング	筋肉やリンパ系について学ぶ。フェイシャルクレンジングの実践。
4	身体のしくみと働き②/ホットタオル拭き取り	自律神経や身体のしくみを理解し、より効果的なケアについて学ぶ。ホットタオルの実践。
5	皮膚の仕組みと働き①/クレンジングの復習	皮膚のしくみと働きの基礎知識を学ぶ。クレンジング技術の復習を行う。
6	皮膚の仕組みと働き②/技術チェック	様々な皮膚状態とお手入れのポイントについて学ぶ。クレンジングの技術力を確認する。
7	中間試験【筆記】/フットマッサージ	6回までの講義の理解度を確認する。フットマッサージの実践。
8	カウンセリングとは/フェイシャルマッサージ	カウンセリングの基礎手法について学ぶ。フェイシャルマッサージの実践。
9	エステティック機器/フェイシャルマッサージ	エステティック機器の種類や目的を学ぶ。フェイシャルマッサージの実践。
10	栄養の知識/フェイシャルマッサージ	美肌作りに役立つ栄養の知識を学ぶ。フェイシャルマッサージの実践。
11	皮膚のしくみと働き③/吸引ケア	肌タイプの見極め方、お手入れの方法について学ぶ。吸引ケアの実践。
12	リフレクソロジーとは/フットリフレクソロジー	リフレクソロジーについて学ぶ。フットリフレクソロジーの実践。
13	ホットストーンとは/ホットストーンセラピー	ホットストーンについて学ぶ。ホットストーンセラピーの実践。
14	リンパドレナージュとは/フットリンパケア	リンパドレナージュについて学ぶ。フットリンパケアの実践。
15	期末試験【筆記】/リンパフェイシャルケア	14回までの講義の理解度を確認する。リンパフェイシャルケアの実践。

科目名 (英)	特殊メイクⅡ Special Effect Make up Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
学科・コース	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	1組(金3・4)2組(水3・4)3組(水1・2)
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではヘアメイクに必要な特殊メイクに関する専門的な技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:ヘアメイクとして幅広いメイクアップの表現力を身につける。 科目概要:TV・映画で必要な特殊なメイクを学ぶ、クリエイティブなメイク表現を学ぶ。					
到達目標	TV・映画で必要な特殊なメイクを習得できる。、クリエイティブなメイク表現を理解することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □筆記試験 ■実技試験 □作品					
教科書	適宜参考画像など資料用意します。			事前事後 学習と その内容	前もって参考になる画像などをリサーチしておくこと。手順が特殊なので何度か実践いつでも再現できるようにしておくこと。	
教材	メイク教材と学校準備の共有教材					
特記事項	手順が特殊なのでしっかりとメモを取ること。					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	フェイクメイク①	【パズルメイク】顔にバランス良くジグソーパズルのピースを描くことができる。
2	フェイクメイク②	【ハーフ&ハーフメイク】顔に男女の横顔を描き分けることができる。
3	フェイクメイク③	【アメコミメイク】アメコミ風の顔に見えるメイクをすることができる。
4	フェイクメイク④	【フェイスオフメイク】顔がはずれて見えるメイクをすることができる。
5	フェイクメイク⑤	【スライスカットメイク】顔が切れてずれて見えるメイクをすることができる。
6	フェイクメイク⑥	【多色メイク】ビビッドな多色を使ったデザインメイクをすることができる。
7	中間試験	【多色メイク】ビビッドな多色を使ったデザインメイクを時間内に仕上げる。(20点)
8	舞台メイク①	【キャッツメイク】デザイン・ライン・グラデーション・左右対称にこだわって作ることができる。
9	舞台メイク②	【宝塚男役メイク】舞台独特の大きな表現を学ぶ。
10	舞台メイク③	【宝塚娘役メイク】舞台独特の大きな表現を学ぶ。
11	舞台メイク④	【宝塚ハーフ&ハーフメイク】半顔男役/半顔娘役をしっかりと作り分けることができる。
12	フェイクメイク⑦	【アニメメイク】眉・目・唇をアニメのキャラのように限りなく大きく仕上げるができる。
13	フェイクメイク⑧	【スカルメイク】骨格に合わせて巧みに頭蓋骨を表現を学ぶ。
14	フェイクメイク⑨	【スカルメイク】骨格に合わせて巧みに頭蓋骨を表現することができる。
15	定期試験	【スカルメイク】を限られた時間内で仕上げる(50点)



科目名 (英)	デザインヘアメイク Design training	年次	2	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	講義・演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4			曜日・時間
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショーなど大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	クリエイティブな作品撮影ヘア&メイクアップを習得する。					
到達目標	クリエイティブな作品撮影の特徴を理解し表現できる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験      ■ 実技試験      □ 作品					
教科書	JESCテキスト 他 資料			事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にヘア・メイクセッティングをしてください。終了後は全員で消毒と清掃を行います。	
教材	メイク道具一式・ヘア道具一式					
特記事項						

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	デザインワーク	デザインシートにヘア・メイクイメージを作成する。技術チェック
2	作品撮影① テーマ	テーマを決める
3	作品撮影②デザインシート	デザインシートに描き込む
4	作品撮影③ヘア・メイク・衣装	ヘア・メイク・衣装の確定・練習
5	作品撮影④映像・画像 リハ	画像・映像のリハーサル
6	中間試験対策	作品撮影 クオリティーアップ
7	中間試験	作品撮影
8	クリエイティブ作品撮影① テーマ	テーマを決める
9	クリエイティブ作品撮影②デザインシート	デザインシートに描き込む
10	クリエイティブ作品撮影③ヘア・メイク・衣装	ヘア・メイク・衣装の確定・練習
11	クリエイティブ作品撮影④映像・画像 リハ	画像・映像のリハーサル
12	クリエイティブ作品撮影⑤イメージ修正	完成度をアップ
13	クリエイティブ作品撮影⑥ブラッシュアップ	完成度をアップ
14	期末試験対策	クリエイティブ作品撮影 クオリティーアップ
15	期末試験	作品撮影